

2020年9月7日

中部地方整備局

名四国道事務所

浜松河川国道事務所

はままつみ っかび とよはし
浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の計画について
地域の皆様のご意見を伺います

1. 概要

浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の計画については、概略ルート・構造の検討（計画段階評価）を進めているところです。

その検討にあたり、地域の皆様や道路をご利用される皆様のご意見をお聴きしたく、アンケート調査やヒアリング調査を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

● 調査期間

2020年9月8日（火）～2020年11月6日（金）

- ・住民アンケートについては、豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市（北区・西区）、湖西市の中から無作為抽出により、9月下旬頃を目処に順次発送致します。

● 調査内容

- ・望ましいルート帯案を考える際に重要だと思ふ事項
- ・インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき事項

● 調査方法

- ・アンケート調査、ヒアリング調査（自治体、企業等が対象）

2. 配布資料

- ・アンケート回答方法（資料1）
- ・アンケート概要資料（資料2）
- ・アンケート質問項目（資料3）

配布先等

静岡県政記者クラブ、愛知県政記者クラブ、浜松市政記者クラブ、

湖西市、豊橋市政記者会、田原市政記者クラブ、新城市政記者クラブ、豊川市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

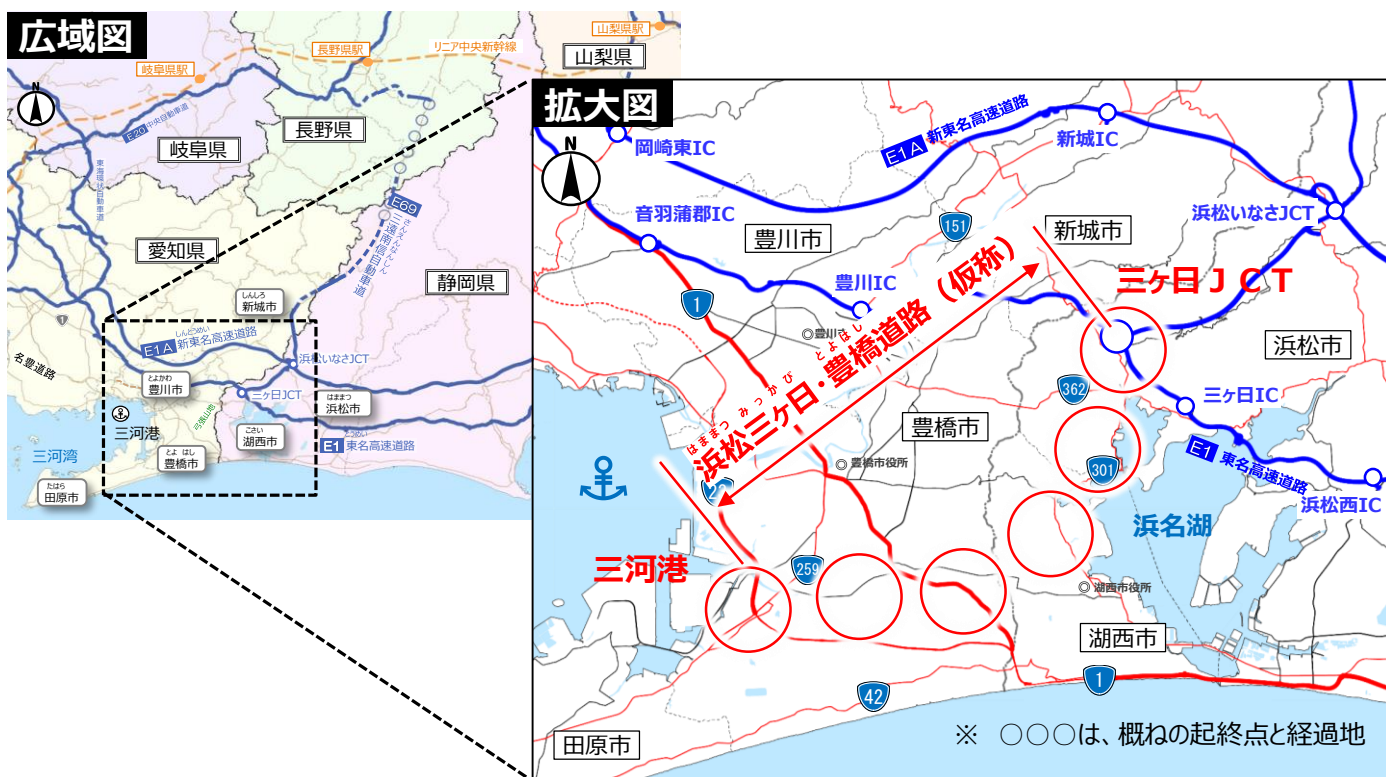
名四国道事務所 計画課 TEL 052-823-7917

副所長 にしじま ゆうじ 西嶋 裕詞 / 計画課長 やぐち けんじ 矢口 謙史

浜松河川国道事務所 計画課 TEL 053-466-0117

副所長 はせがわ ひろのぶ 長谷川 裕修 / 計画課長 まつお けんじ 松尾 賢二

アンケート回答方法



対象	回答方法
周辺地域にお住まいの方	1) 豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市（北区・西区）、湖西市に お住まいの方に送付するアンケート調査票にて回答。 ※webページでの回答も可能です。 ※各ご家庭へ順次発送致します。
	2) 豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市（北区・西区）、湖西市の 各市・区役所等へ設置するアンケート調査票にて回答。 ※ポスター等からwebページへアクセスして回答も可能です。 ※アンケート調査票は順次設置致します。
	3) 名四国道事務所 ホームページ (https://www.cbr.mlit.go.jp/meishi/) 浜松河川国道事務所 ホームページ (https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/) にてアンケート調査票に回答。
道路利用者の方	1) 道の駅や近隣SA・PA、地域の観光施設等に 設置するアンケート調査票にて回答。 《道の駅・観光施設》とはし、田原めっくんはうす、あかばねロケーション、もつる新城、つくで手作り村、鳳来三河三石、潮見坂 《SA・PA》新城PA（東名）、浜名湖SA（東名）、長篠設楽原PA（新東名）、浜松SA（新東名） ※ポスター等からwebページへアクセスして回答も可能です。 ※アンケート調査票は順次設置致します。
	2) 名四国道事務所 ホームページ (https://www.cbr.mlit.go.jp/meishi/) 浜松河川国道事務所 ホームページ (https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/) にてアンケート調査票に回答。



道路計画に関するご意見をお聴かせください

はままつみっかび とよはし 浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の計画に関する 第2回アンケート

【概ねの起終点】三河港

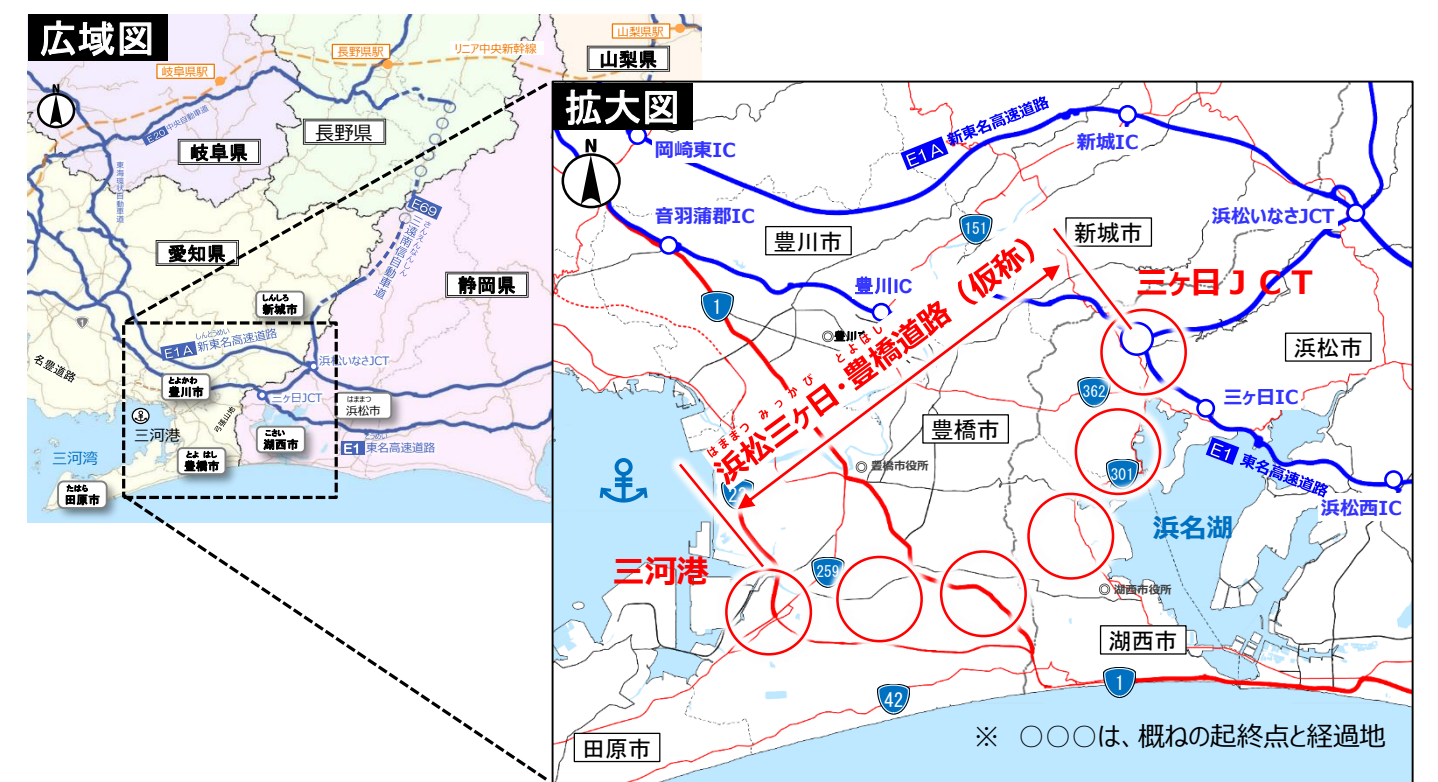
【概ねの起終点】三ヶ日ジャンクション

本アンケート調査は、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の計画策定にあたり、本道路が皆様の生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆様のご意見をお聴きするために実施するものです。

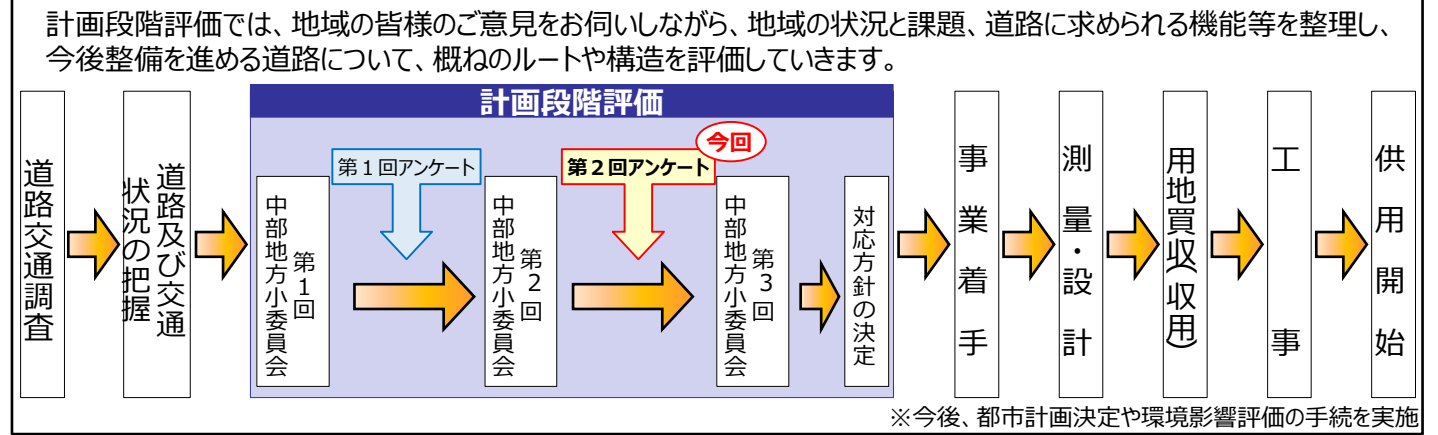
これまで、国土交通省中部地方整備局では1回目のアンケート調査において地域の皆様から頂いた意見を集約し、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺地域の課題や本道路に求められる機能・役割、政策目標を決定して参りました。

2回目となる本アンケート調査では、決定された政策目標を達成するためのルート案を比較・検討する際に重要と思われるポイントについて、豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市（北区・西区）、湖西市の皆様に対し、再度ご意見をお聴きするものです。

※アンケート調査は、環境影響評価法第三条の七に基づく配慮書の案についての意見聴取手続きを兼ねています。
 ※アンケートの郵送先は、無作為に抽出しておりますので、本アンケート調査が1回目となる場合があります。



道路事業の流れ（計画段階評価の流れ）



回答方法

回答方法①
：こちらからアクセスして、WEBページ内の手順に沿って回答してください。

回答方法②
：回答用紙（返信ハガキ）に記入の上ポストへ投函してください。

WEBページ、もしくは同封の返信ハガキのどちらの方法でもご回答いただけます。

回答用の郵便はがきの記入例

- ・**選択回答**の設問は、あてはまる番号に**1つだけ**○（マル）をつけてください。
 - ・問2、問3は4段階評価の質問です。**それぞれの項目について1つずつ**○（マル）をつけてください。その他の選択肢をチェックした場合は、具体的な内容を回答してください。
 - ・**問4**の設問は自由回答です。具体的なご意見をお書き下さい。
- ※地域の現状について、地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

「オモテ面」

郵便はがき
4 6 7 8 7 9 0

名古屋市瑞穂区神穂町5番3号
国土交通省 名四国道事務所
計画課

問1-1. 住所
お住まいの市を記入してください。1.浜松市 2.湖西市 3.豊橋市 4.田原市 5.豊川市 6.新城市

問1-2. 性別
1.男性 2.女性

問1-3. 年齢
1.0代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70歳以上

問1-4. 利用する
1.利用する 2.利用しない

問1-5. 目的
1.仕事 2.通勤・通学 3.日常的な買い物・通院等 4.観光・レジャー 5.その他

「ウラ面」

問2. この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）において、望ましいルート案を考える際に重要だと思うことは何ですか。以下の①～⑨の項目について、4段階評価してください。

ルート案の検討において重要視すべき事項	あなたの評価の程度
① 高速道路ICに早く時間通りに到達できること	4 3 2 1
② 災害時にも道路を通行できること	4 3 2 1
③ 災害時に支障物資等の輸送に役立つこと	4 3 2 1
④ 観光地間の移動がしやすくなること	4 3 2 1
⑤ 市街地を走る大型車両を減らせること	4 3 2 1
⑥ 生活環境（大気、騒音等）に配慮し、影響が少ないこと	4 3 2 1
⑦ 自然環境（動植物等）に配慮し、影響が少ないこと	4 3 2 1
⑧ 地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと	4 3 2 1
⑨ 道路をつくる費用が安いこと	4 3 2 1

問3. インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。以下の①～④の項目について、4段階評価してください。

インターチェンジの設置において配慮すべき事項	あなたの評価の程度
① 産業拠点となる三河港や産業集積地等からアクセスしやすいこと	4 3 2 1
② 防災拠点からアクセスしやすいこと	4 3 2 1
③ 沿線地域の観光地へアクセスしやすいこと	4 3 2 1
④ 市街地からアクセスしやすいこと	4 3 2 1

問4. その他配慮すべき事項について、ついでご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

問5. この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）の現在の道路の状況や、今後の道路整備等についてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

回答用紙（返信ハガキ）は2通同封しています。ご家族の複数の方でご回答いただいても構いません。

※ 単身世帯など複数の回答用紙を必要とされない場合は、破棄していただいても構いません。

～ アンケートの回答期限～

回答は、**2020年11月6日（金）**までお願い致します。

※この期限以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 計画課
TEL (052) 823-7917 (直通：平日9:30～17:00)
ホームページ: <https://www.cbr.mlit.go.jp/meishi/>

国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 計画課
TEL (053) 466-0117 (直通：平日9:30～17:00)
ホームページ: <https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>

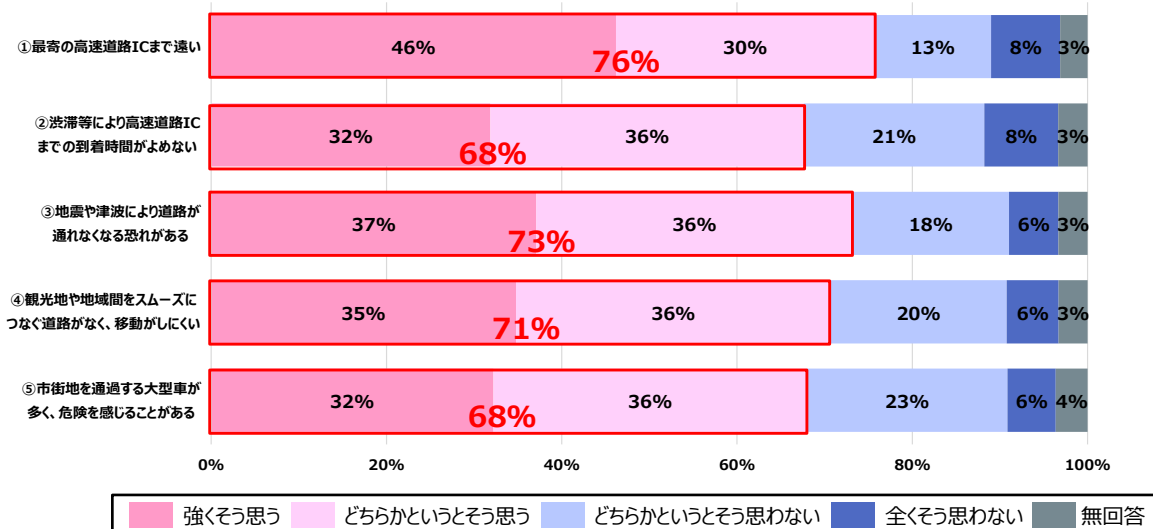
第1回意見聴取の結果

第1回意見聴取では、地域の皆さまや道路利用者の方にアンケートを行い、32,700通余りものご意見が集まりました。
頂いたご意見を以下にお知らせいたします。

1) アンケート結果

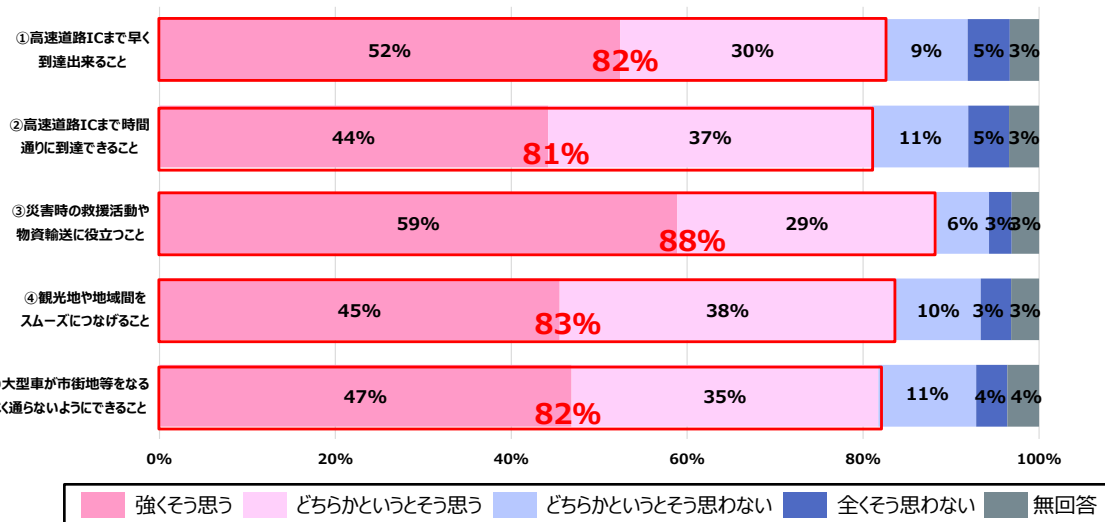
■ 新たな道路を計画している地域の課題

新たな道路を計画している周辺地域の道路の課題について、全ての項目において7割～8割の人が課題だと認識しています。



■ 浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）に求められる機能・役割

浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）に求められる機能・役割について、全ての項目において必要だと認識している人が多く、特に防災の関心が高い傾向にあります。



2) ヒアリング結果

- ・時間信頼性の高い道路の整備が必要。高速アクセスが良くなり、豊洲方面への出荷が良くなれば鮮度が上がり、魚の付加価値も上がる。（商工会）
- ・この地域8市町村が連携して観光振興に取り組んでいるが、観光面は点になりがち。観光資源を繋ぎきっかけになる道路整備が必要。（観光協会）
- ・災害時における被災地や避難所、医療拠点等へのアクセスルートとなる道路整備が必要。（病院）
- ・湖西市では、現在、救急車の主たる利用道路として、国道301号を利用しているが、線形が悪く、片側1車線のため、渋滞や事故の影響を受ける。（消防）
- ・幅員が狭い道が多く、自転車の走行の安全性に影響。10tトラックドライバーのストレスになっている。（JA）
- ・自転車（サイクリスト）と物流車両等との衝突の危険性等、安全性の課題が大きい。（観光協会）

地域の課題と課題を解決するための目標の設定

浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）における課題解決のための目標を定めました

■ 第1回委員会にて整理した地域の課題と地域の皆様から頂いたご意見をもとに課題解決にむけた目標を以下の通り決めました。

課題	意見聴取で頂いたご意見	政策目標
《国道151号の渋滞》 課題1 ① 最寄の高速道路インターチェンジまで遠い ② 渋滞等により高速道路インターチェンジまでの到着時間が読めない	・高速道路のインターチェンジが東西どちらも遠い ・朝夕の渋滞で、身動きできない	速達性、定時性の向上による物流支援
《防災拠点における災害支援》 課題2 ③ 地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある	・災害が起きた時、救援に不安を感じる ・今後予想される自然災害に対する早急な対応を望んでいる	災害時の信頼性向上による円滑な救援等活動及び支援物資輸送
《観光地間の連絡》 課題3 ④ 観光地や地域間をスムーズに繋ぐ道路がなく、移動がにくい	・遠州地域から三河地域を結ぶ幹線道路が少ない	広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進
《事故危険箇所》 課題4 ⑤ 市街地を通過する大型車が多く、危険を感じることがある	・道が狭く、歩行者も入り乱れる地域なので危ない ・危険防止のため、産業道路と、生活道路の分離が必要	生活交通の安全な走行環境

第1回意見聴取の結果を踏まえた政策目標の設定

定めた目標と以下配慮事項を踏まえ、対策案を検討します。

基本コンセプト：物流支援、円滑な救援活動及び支援物資輸送、地域間交流の促進、生活交通の安全な走行環境の確保を目的とした主要幹線道路の整備を目指す

○ 対策案を検討する上での配慮すべき事項

- 生活環境への配慮
- 自然環境への配慮
- 景観への配慮
- 経済性への配慮
- 工事中の現道交通への配慮

対策案の方針：通過ルートの異なる複数の対策案を検討

○ 対策案を検討する上での重視すべき事項

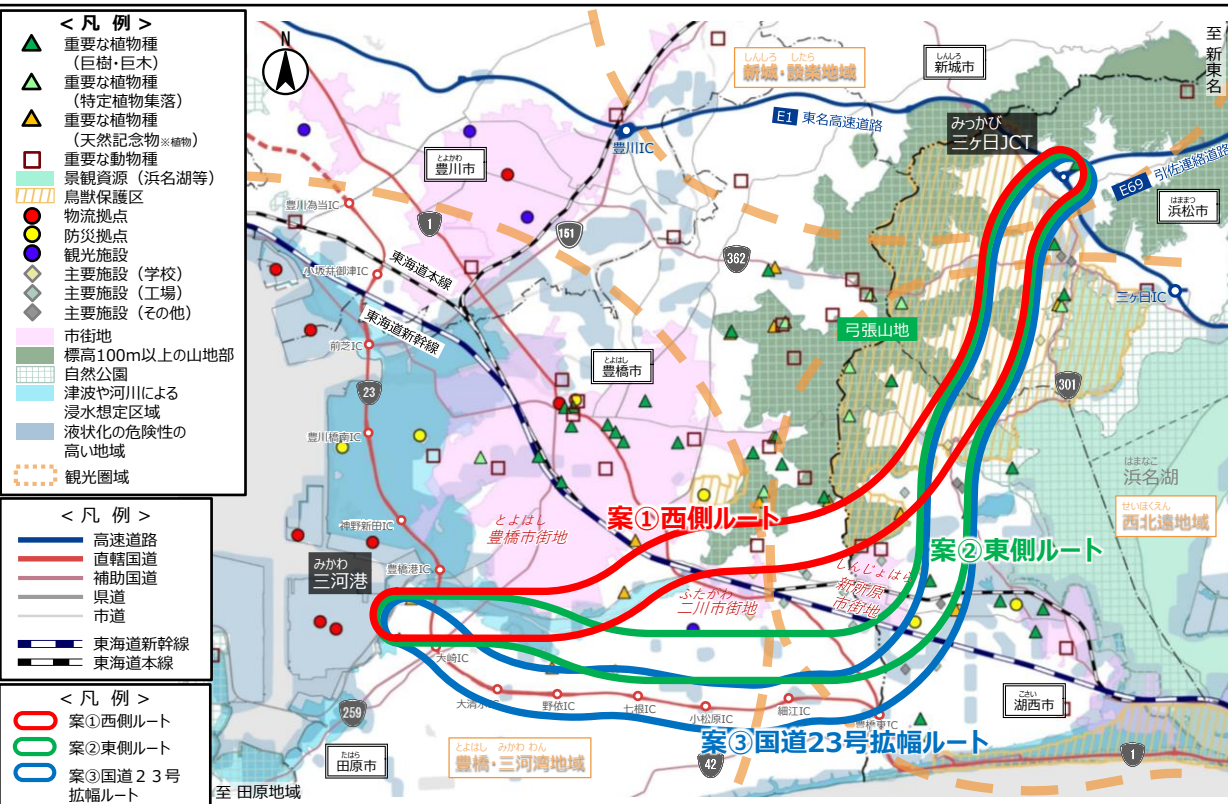
- 高速道路までより早く確実に到達し、安全で快適な走行ができること
- 災害時において、救援活動や支援物資輸送に役立つこと
- 豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の主要な観光地間について、広い範囲で行き来がしやすくなること
- 大型車の市街地への流入を減らすこと

○ インターチェンジの設置を検討する上での配慮すべき事項

- 産業の拠点となる三河港や静岡・愛知県境付近の工場などからアクセスしやすいこと
- 災害時の救援活動や支援物資輸送のために、豊橋・湖西市からアクセスしやすいこと
- 主要な国道等とアクセスしやすいこと

質問内容

■地域の課題を解決するために、以下のような対策案（3つの比較案）を検討しています。対策案について、下記の質問事項をお答えください。



質問事項

質問1：この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。以下の①～⑩の項目について、4段階評価してください。

<4段階評価>

4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない

- ①高速道路インターチェンジに早く時間通りに到達できること
- ②災害時にも道路を通行できること
- ③災害時に支援物資等の輸送に役立つこと
- ④観光地間の移動がしやすくなること
- ⑤市街地を走る大型車両を減らせること
- ⑥生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑦自然環境（地形・地質・動植物・自然公園等）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑧地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑨工事中の現道交通への影響が少ないこと
- ⑩道路をつくる費用が安いこと
- ⑪その他（自由回答）

質問2：インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。以下の①～④の項目について、4段階評価してください。

<4段階評価>

4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない

- ①産業の拠点となる三河港や産業集積地などからアクセスしやすいこと
- ②防災拠点からアクセスがしやすいこと
- ③沿線地域の観光地へアクセスがしやすいこと
- ④市街地からアクセスしやすいこと
- ⑤その他（自由回答）

質問3：その他配慮すべき事項について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

質問4：この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

評価軸		案① 西側ルート	案② 東側ルート	案③ 国道23号拡幅ルート	
ルート概要	概要	豊橋市街地と二川市街地の中間を通過するルート	新所原市街地の東側を通過するルート	新所原市街地の東側を通過し、一部、国道23号を拡幅するルート	
	延長	約26km	約29km	約31km (うち国道23号拡幅区間 約14km)	
政策目標	速達性、定時性の向上による物流支援	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：14分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：5分短縮) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：11分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：6分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	
	災害時における円滑な救援等活動及び支援物資輸送	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避、または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい			
	広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進	観光地間の移動がしやすくなる	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性の向上が見込まれる (豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：17分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる (豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：14分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる (豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：9分短縮)
	市街地部における安全な走行環境の確保	市街地を走る大型車両を減らせる	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる (ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約700箇所)	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる (ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約600箇所)	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる (ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約300箇所)
配慮すべき事項	環境への影響	生活環境への影響 (集落・市街地の大気質・騒音)	市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい		
		自然環境への影響 (動物、植物、生態系等)	植物の重要な種の生息地等を概ね回避するため、影響を与える可能性は比較的小さい	植物の重要な種の生息地等を最も回避するため、影響を与える可能性は小さい	植物の重要な種の生息地等を最も回避するため、影響を与える可能性は小さい
		景観等への影響 (景観等)	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい		
工事中の現道交通への影響		新設整備のため、現道交通に影響を与える可能性は小さい		国道23号の拡幅工事により交通規制が必要となる場合があるため、現道交通に与える影響が大きい	
経済性への配慮		約3,000億円～3,600億円	約3,100億円～3,700億円	約2,700億円～3,200億円	

※ 東名高速へのアクセスと新設する自動車専用道路へのアクセスの比較

【参考文献】 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況：第1回自然環境保全基礎調査 すくれた自然調査（昭和51年、環境庁）／第2回自然環境保全調査 動物分布調査（昭和54-56年、環境庁）／第2回自然環境保全調査 特定植物群落調査（昭和55年、環境庁）／第3回自然環境保全調査 特定植物群落調査（平成元年、環境庁）／第4回自然環境保全調査 巨樹・巨木林調査（平成3年、環境庁）／第3次レッドリスト／第2015新掲載種の解説（平成27年3月、愛知県）／まもりたい静岡県の野生生物 動物編2019（平成31年3月、静岡県）／まもりたい静岡県の野生生物 植物編2004（平成16年3月、静岡県）／はまつの文化財（平成30年8月、浜松市）／湖西市文化財案内マップ（平成30年8月、湖西市）／豊橋市の文化財（平成30年8月、豊橋市）／豊川市の指定・登録文化財一覧（平成30年8月、豊川市）／文化財（平成30年8月、新城市）／自然公園の区域及び計画図など（平成30年8月、静岡県）／愛知県の自然公園（平成30年8月、愛知県）／愛知県自然環境保全地域（平成30年8月、愛知県）／生物多様性保全上重要な湿地（令和元年8月、環境省）／生物多様性保全上重要な里地山（令和元年8月、環境省）／第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査（平成11年～、環境省生物多様性センター）

(参考) 浜松三ヶ日・豊橋道路 (仮称) 整備前後のイメージ

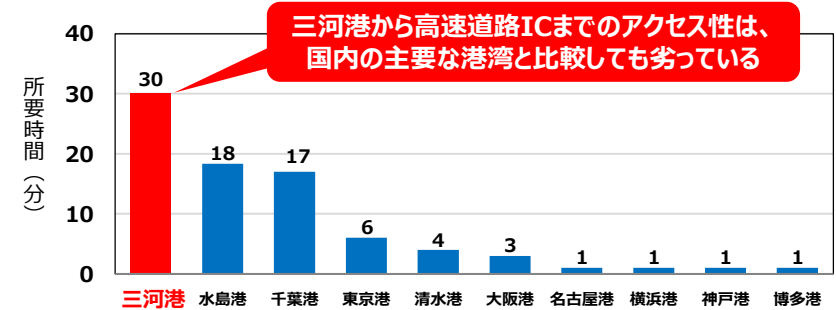
整備前

現況の課題

課題1 最寄りの高速道路ICまでが遠く、渋滞等により、高速道路ICまでの到達時間が読めない。



【港湾からの高速道路へのアクセス時間】



※所要時間は、平成27年度全国道路・街路交通情勢調査非混雑時旅行速度にて算出
 ※2018年貿易統計より、貿易額が上位の各港湾における主要ふ頭からの高速ICアクセス時間を算出

三河港から高速道路ICまでのアクセス性は、国内の主要な港湾と比較しても劣っている

課題2 地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある。



課題3 地域や観光地間を繋ぐ道路がなく、移動がしにくい。



課題4 生活道路への大型車両の流入による危険。



※三河港から高速道路ICまでの所要時間は、平成27年度全国道路・街路交通情勢調査非混雑時旅行速度にて算出

整備後

整備イメージ：案① 西側ルート

豊橋市街地と二川市街地の中間を通過するルート (約26km)



整備イメージ：案② 東側ルート

新所原市街地の東側を通過するルート (約29km)



整備イメージ：案③ 現道拡幅ルート

新所原市街地の東側を通過し、一部、国道23号を拡幅するルート (約31km ※うち国道23号拡幅区間 約14km)



※トンネル等の構造や位置はイメージです。

問1.あなた自身について

問1-1.ご回答された方について教えてください

住所	※○丁目以下は記載無しで構いません（例：豊橋市今橋町 など）						
性別	1.男性	2.女性					
年齢	1.10代	2.20代	3.30代	4.40代	5.50代	6.60代	7.70歳以上

問1-2.普段自動車を利用されますか？【1つ選択】

自動車利用	1.ほぼ毎日	2.週に数回程度	3.月に数回程度	4.ほぼ利用しない	5.利用したことがない
-------	--------	----------	----------	-----------	-------------

問1-3.「問1-2」で1～4と回答された方にお聞きます。

別添資料の地図に示す『浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）※地図中○○○で示す路線』周辺（豊橋市・湖西市・浜松市北区）の道路を利用されますか。

1.利用する 2.利用しない

問1-4.「問1-3」で1と回答された方にお聞きます。

浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺の道路を利用する主な目的を教えてください。【主たる目的を1つ選択】

1.仕事 2.通勤・通学 3.日常的な買い物・通院等 4.観光・レジャー 5.その他（ ）

問1-5.「問1-4」の目的で向かう主な目的地はどこですか？

（ ） 都・道・府・県 （ ） 市・区・町・村 （ ）

※○丁目以下は記載無しで構いません

問2.浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）のルート帯案を検討する際に、政策目標・配慮すべき点について

問2.この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。

以下の①～⑩の項目について、4段階評価してください。

【4段階評価】 4.強くそう思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全くそう思わない

ルート帯案の検討において重要視すべき事項	あなたの評価の程度			
①高速道路ICに早く時間通りに到達できること	4	3	2	1
②災害時にも道路を通行できること	4	3	2	1
③災害時に支援物資等の輸送に役立つこと	4	3	2	1
④観光地間の移動がしやすくなること	4	3	2	1
⑤市街地を走る大型車両を減らせること	4	3	2	1
⑥生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと	4	3	2	1
⑦自然環境（動植物等）に配慮し、影響が少ないこと	4	3	2	1
⑧地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと	4	3	2	1
⑨工事中の現道交通への影響が少ないこと	4	3	2	1
⑩道路をつくる費用が安いこと	4	3	2	1

問3.インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項について

問3.インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。

以下の①～④の項目について、4段階評価してください。

【4段階評価】 4.強くそう思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全くそう思わない

インターチェンジの設置において配慮すべき事項	あなたの評価の程度			
①産業拠点となる三河港や産業集積地等からアクセスしやすいこと	4	3	2	1
②防災拠点からアクセスがしやすいこと	4	3	2	1
③沿線地域の観光地へアクセスがしやすいこと	4	3	2	1
④市街地からアクセスしやすいこと	4	3	2	1

問4.その他配慮事項

問4.その他配慮すべき事項について、ついでご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

例) 工事中の○○地域への影響を心配している

問5.その他

問5.この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）の現在の道路の状況や、今後の道路整備等についてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

例) この道路ができれば、高速道路インターから離れている○○地域へも行きやすくなると思う